

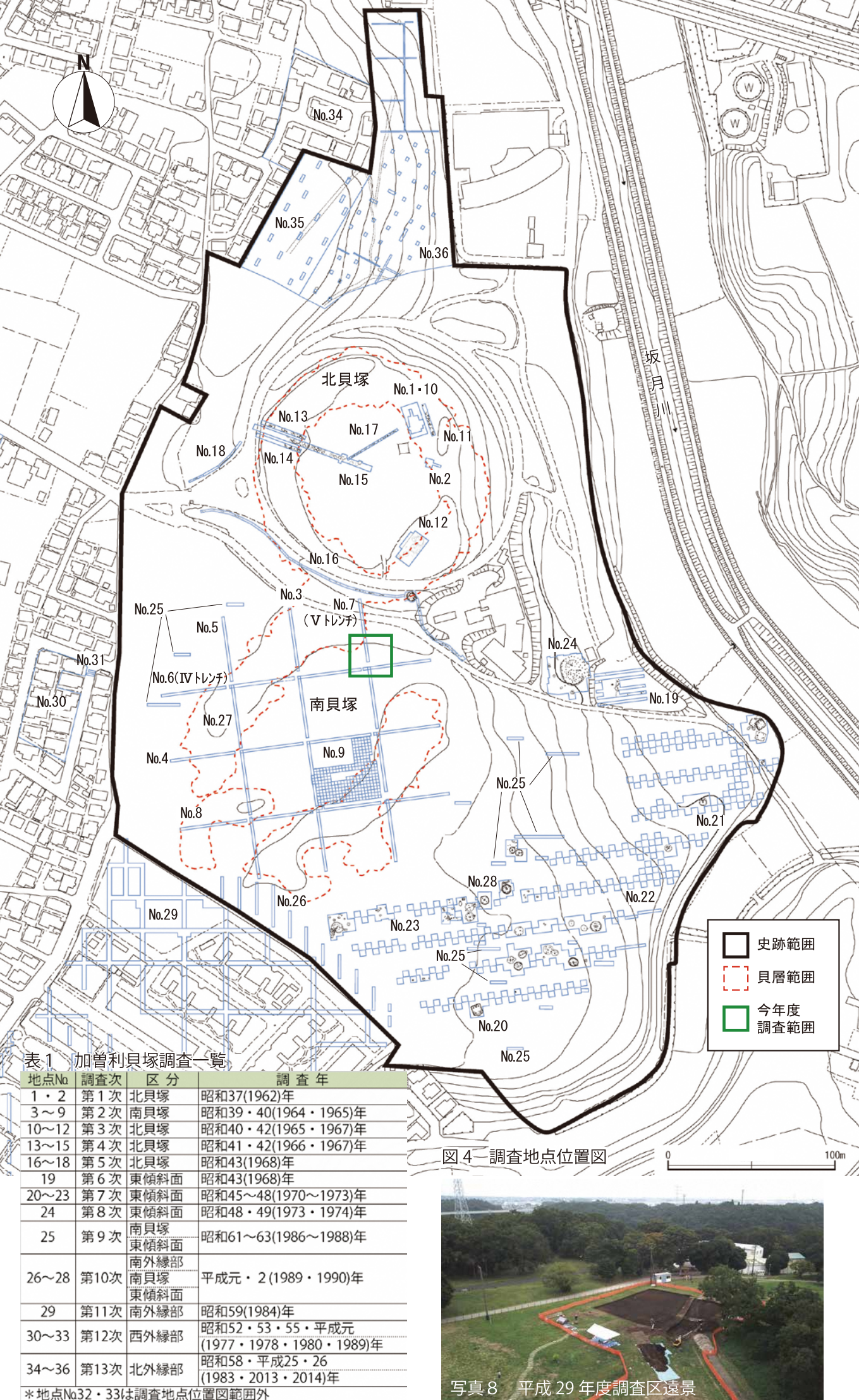


表1 加曽利貝塚調査一覧

地点No	調査次	区分	調査年
1・2	第1次	北貝塚	昭和37(1962)年
3～9	第2次	南貝塚	昭和39・40(1964・1965)年
10～12	第3次	北貝塚	昭和40・42(1965・1967)年
13～15	第4次	北貝塚	昭和41・42(1966・1967)年
16～18	第5次	北貝塚	昭和43(1968)年
19	第6次	東傾斜面	昭和43(1968)年
20～23	第7次	東傾斜面	昭和45～48(1970～1973)年
24	第8次	東傾斜面	昭和48・49(1973・1974)年
25	第9次	南貝塚 東傾斜面	昭和61～63(1986～1988)年
26～28	第10次	南貝塚 南外縁部	平成元・2(1989・1990)年
29	第11次	南外縁部	昭和59(1984)年
30～33	第12次	西外縁部	昭和52・53・55・平成元 (1977・1978・1980・1989)年
34～36	第13次	北外縁部	昭和58・平成25・26 (1983・2013・2014)年

*地点No32・33は調査地点位置図範囲外

図4 調査地点位置図



写真8 平成29年度調査区遠景

加曽利貝塚

KASORI SHELL MOUNDS

発行者 千葉市教育委員会
生涯学習部 文化財課
発行日 平成29年12月2日

特別史跡 加曽利貝塚 平成29年度 発掘調査現地説明会



図1 加曽利貝塚位置図

今年度の調査の目的

- ・昭和39年の調査地点の確定。
- ・当時検出した竪穴住居跡を確認し、縄文時代のムラの様子を推測する手掛かりを探る。
- ・加曽利貝塚の今後の調査や整備のための情報を得る。

調査期間：平成29年9月26日～12月中旬

調査機関：千葉市埋蔵文化財調査センター

調査面積：625㎡（25m×25m）

調査地点：南貝塚北東部



写真1 昭和39年調査風景

基本層序

- 表土：草の根を多く含む。
黒色土：縄文時代晩期の遺物を多く含む。
暗褐色土：縄文時代の堆積土
ローム層：今から1万年以上前の地層

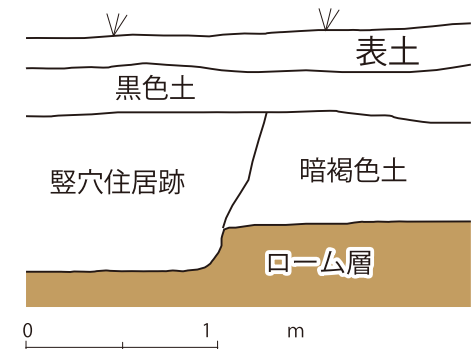


図2 基本層序模式図

発見された遺構と遺物

遺構：竪穴住居跡（縄文時代晩期初め）
貝層

遺物：縄文土器（中期・後期・晩期）
土製品（耳飾り、土器片円盤）
石器（石鏃・磨製石斧・石剣）
骨角器（刺突具）、人骨、獣骨



写真2：発掘調査風景

遺構配置図



図3 遺構配置図



写真3：竪穴住居跡



写真4：遺物出土状況（黒色土）



写真5：壺形土器出土状況（黒色土）



写真6：石剣出土状況（暗褐色土）



写真7：貝層検出状況